

マリンストアニュース

YAMAHA No.39'84-5-6

吉備路

豊かな海の幸と山の幸にめぐまれ、温暖な気候にめぐりあわせ、そして古くから大和と九州、加えて出雲とに結ばれ、それぞれの異った文化との交流の中から、この地方独特の新しい吉備文化を生みだした吉備路。古代に栄えたといわれる吉備国は、大化改新のち備前、備中、備後、美作の4国に分かれた。だから吉備路は本来岡山県の総称として使われていた。一步郊外に出れば、祖先の豊かな暮らしをしのぼせる貴重な文化遺産が散在する中、今、山陽新幹線が走り、高速道路が町並を突切る。



吉備津神社の本殿西側斜面は300mもの美しい回廊が続く



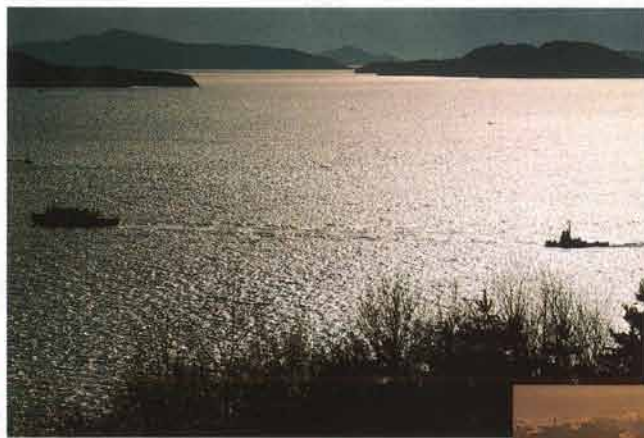
吉備路がつくりあげた地酒のオンパレード



桃太郎

岡山とくれば吉備団子、そして桃太郎と連想ゲーム風イラストと続く。新幹線の駅前に小さな桃太郎像があったが、市内いや県内いたるところに“桃太郎”がいた。

桃から生まれた桃太郎だが、岡山県の特産物のひとつに白桃がある。白肉、甘味に富み、桃の最高クラスとして人気があり、明治34年(1901)に命名、岡山市郊外はもとより瀬戸、山陽、玉島、金光、笠岡などが主産地。



鷲羽山からの瀬戸内暮情



水島工業地帯の夕景

瀬戸内暮情

美しい瀬戸内の風景をうたった詩や歌、絵画や写真はあまりにも多い。特に児島半島の西南端にある鷲羽山から眺める備前瀬戸の夕景は圧巻と聞く。岡山から2号線を經由、ドライブウェイにあがれば、まさにパノラマ。キラキラと陽光を

はね返し、その逆光の中に浮ぶ大小の島々。またシルエットの中に黒い航跡を残す漁船やフェリー。赤く染まった夕陽の中に、水島工業地帯までが不思議なロマンを感じさせた。

白壁とアイビー



岡山市の隣は倉敷、白壁の土蔵が影を川面におとす古き町並はもとより、高い文化の香りを放つ大原美術館。ここ倉敷の早くから始まった文化へのアプローチは高く評価されている。有名なカフェ・エルグレコのアイビーに、先達たちの文化への意気込みを感じた。

速くへ行きたいでデビューしたカフェ・エルグレコ健在



黒く異様な雰囲気をかもし出す鳥城(岡山城)

後樂園で鳥城を見た

今シーズンのプロ野球ベナントレースもいよいよ開幕。プロ野球といえば“後樂園”とは小学生でも知ってること、とはいえその本家が岡山にあると知る子は少ない。

“天下の憂に先んじて憂い、天下の楽しみに後れて楽しむ”ここ後樂園は元禄13年(1700)

に岡山藩主池田綱政が林泉回遊式庭園として完成、面積13万3000㎡、その美しい芝生の庭は、カクテル光線に輝く人工芝に負けることはない。遠くに黒く不気味な姿を誇示する鳥城(岡山城)が印象的だった。

5月 皐月

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	
●期				シユリア祭(東京都神津島)				●下弦		小満		獅子祭(愛媛県越智郡大西町)		和歌祭り(和歌山県和歌山市)	黒船祭り(静岡県下田市)	○望		青柏祭(石川県七尾市)	金魚祭(三重県桑名市)					●上弦		6日 子供の日 立夏	4日 みなと祭(福岡県北九州市門司)	3日 憲法記念日 お船祭(茨城県北茨城市)		2日 妙見祭(山口県長門市深川港)	1日 浜松風揚げ(静岡県浜松市)

初夏

本格的ボートヨットシーズンをむかえて

五月、さつき晴れ、風かおる季節です。
 マリンストアのお客さまたちは、目に青葉よりは、ヤッパリ、
 初ガツオ派でしょうネ……。
 いよいよ本格的な水のシーズンの到来です。
 漁業需要主体のマリンストアさんでは、
 春の商戦のアフターケアでお忙しい日々を送られ、
 レジャー需要主体のマリンストアさんでは、
 ご商売にいちだんとエンジンがかかっておられることでしょう。



この時期に、とくにレジャー需要主体のマリンストアさんは、シーズン開始にあたって

- ボート、エンジンの使用前点検
 - 安全備品の点検、交換、補充
 - 船舶検査期限のチェック
 - 海技免状の検印、新旧海技免状の引換期間の確認……とくに、旧小型船舶操縦士免許(昭和49年5月25日以前交付)所有者で、未だに1級免許への切替をしていないお客さまの免許は、この5月25日で無効となってしまいます。(ヤマハでは各地でその切替講習会を開催しています。この講習会については、お近くのヤマハへお問い合わせください)
- ……などについて、積極的にお客さまにすすめしたりアドバイスしましょう。また、海上安全講習会、フィッシングコンテストの開催が、代替需要、新規需要開拓に最も効を奏するのも、この時期です。

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		
土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金		
●期								●下弦 夏至									○望 洲崎神社祭り(千葉県館山市)			10日 時の記念日 神島の祀り舟(三重県鳥羽市神島)	入梅			●上弦	伊勢之び祭(三重県浜島町)		4日 空回おしんぐらんこ(岡山県笠岡市)	3日 ハーリー船競走(沖縄県糸満市) 大綱引き(佐賀県呼子町)		2日 御潜神事(三重県志摩)	1日 気象記念日・アユ解禁

6月 水無月



特別座談会シリーズ…①

巻の熊本のノリ

“マリンストアさん ヤマハ船外機を大いに語る”



(上)ノリの本場、有明海は熊本のノリ漁場を疾走するニューシルバーマシンと(下)昨年大ヒットした「W-35」とニューシルバーマシンの姿が見られる玉名市のノリ船だまり

本誌新企画の連載座談会「ヤマハ船外機を大いに語る」の第一弾は、57年度のノリが好漁だったことと、ヤマハ35尺和船・W-35のタイムムリーなデビューとがあいまって、昨年ヤマハ船外機を驚異的に売りまくった、熊本県のマリンストアさんを集めて行いました。干満差の激しい有明海は、わが国で有数のノリ漁場。お集まりいただいたマリンストアさん達は、いずれも、ノリ漁主体の業務用販売がご商売の中心で、熊本県を代表するマリンストアさん達。昨年にひき続き2年続きのノリ大豊作のニュースも、2月に入ってから雲行きがチョット……。

それでも、元氣イッパイ、ヤマハ船外機の販売に飛び回っておられる、皆さまでした。

出席者

(アイウエオ順)

小松野 繁さん(57歳)、宇土市長浜町、「**小松野機械店**」社長。船外機を販売するようになって20年。宇土市のノリ漁家、一本釣りの漁家をお客とし、ノリ漁家には、40馬力以上の2基掛けを推める。ご商売をされています。

西浜 秀治さん(27歳)、玉名市滑石町、「**西浜商会**(西浜正春さん)の後とり。お店の船外機販売は24年。秀治さんはディーゼルエンジンの勉強をされたのち、お店を手伝うようになって4年。お客のほとんどがノリ漁家で、販売主力馬力は80〜115馬力。

松尾 時治さん(59歳)、玉名市滑石町、「**尾松尾鉄工所**」社長。創業27年。お客は「**西浜商会**」さんと同じく玉名市を中心としたノリ漁家で、販売主力馬力も同様。昨年、大ヒットした35尺ノリ和船誕生の立て役者です。

司会 本日はお忙しい中を、「マリンストアさん ヤマハ船外機を大いに語る」のため、ワザワザお集まりいただきまして、まことにありがとうございます。

早速ですが、今日の主題のひとつである、ヤマハ船外機の良さ、つまり皆さまが日ごろ、ヤマハ船外機をお客さまにおすすめになるときに、お話ししていただきたいと思います。ヤマハ船外機のセールスポイントから、お聞かせいただけますか……。

船外機はヤマハっちゃん イメージは、たしかにあるな

松尾 ウーン、最初からずいぶん難かしい質問ですね(笑)。うちの地区では、お客さんが、なにしろ、ヤマハを強く求めるんです。ヤマハ船外機に対するお客さんのイメージが良い、受けが良いということです。

小松野 うちの地区(宇土)でも、徐々にそうなりつつある。本場にそうすね。

司会 その点を、もっと具体的にお願いします。

松尾 それが判らない(笑)。我われにも判らないということです。……お客さんの漁師さん達には、何か、多勢に無勢というか、1人だけボツンとよそのメーカー品を買ったと、疎外されるというような感じがあるんじゃないですか、このことから、お客さんの層を掴むということの大切さが、はっきりわかるわけですよ。

司会 松尾さんのところでは多くのお客がヤマハを求めるといいますが、松尾さんがヤマハをすすめるからヤマハにするというお客も多いんじゃないですか。

松尾 ウーン、それが7割かナ(笑)。
小松野 ヤマハ(船外機)の受けが良い理由のひとつに、ヤマハには良い船(和船・漁船)があるということがあるのでは……。

船とセットで考える、売れるというのは強味ですよ。もちろん、船外機だけ見ても、他メーカーのものより進んでいると思いますが……。

西浜 うちでは親爺が、ヤマハが最初の船外機を発売した時(昭和35年)から、ずっとヤマハしか扱ってきいていないので、他メーカーとの比較はできないが、ヤマハの名前が良かじやなかですか、つまり、ネームバリューについているのか……。

松尾 船外機はヤマハっちゃんイメージは、たしかにあるな。
司会 もっと具体的な、何かが浮びませんかですかね。
小松野 単的に言わしてもらえば、販社のヤマハ熊本が距離的に近いせいもあるが、我われが必要な時に、迅速で、しっかりしたアフター・フォローを受けられるということでしょうか、次に、デザイン面でも多少は優れているし、性能的にもわりと安定しているということではないでしょうか。

松尾 ヤマハ船外機で、私がいちばん好きなところは、トップ・カウリング、あれがピシッと噛むことすね、そして、カチッと閉まる。サスガにヤマハの技術、なるほどナと思う。それに、ヤマハ船外機はコマカナ調整がきく。

小松野 お客さんから、スロー時の安定性がある、という声をよく聞きます。釣り場がせまい水面に割当てられている、ボラ釣りの漁師さん達にとって、スロー時の安定性が評判ですよ。つまり、アイドリングがきくということですよ。

西浜 メーカーの販売ルートがしっかりしているし、部品の供給も早いですよ。それに、(ヤマハ熊本では)融通もある程度はきかしてくれらるし……。

松尾 交通網がこんなに発達してくると、それ(部品供給)はどのメーカーもあまり変わらないんじゃないですか。部品は知らないうちに溜まってしまっ、始末に困るので、うちではあんまり取らんことにしていますか。

小松野 ヤマハ船外機は足まわりも良くできています。それに、塗装も良い、塗装はたしかにすぐれている。

司会 数かずのお褒めの言葉を頂戴しまして、まことにありがとうございます。お客さまがヤマハ船外機をお求めになるのも、つまりは、マリンストアの皆さまの販売方のたまもの。皆さまが自信をもってヤマハ船外機を、おすすめていただいていることがよくわかりました。

ところで、次の話題「ニュー・シルバー・マシンの評判を、お聞かせねがえませんか……」。

オートルーフは

あまり油を喰わんとって

心配する人もおるとすよ

西浜 音が変わってきましたネ、ものすごく良くなった。エンジン音が静かで、滑らかですヨ。以前の65馬力とニューの70馬力、それに、4気筒の同馬力船外機同士をくらべて

「ニュー・シルバー・マシンは音が静かで滑らかですよ」
西浜商会・西浜秀治さん

みても、音が柔らかいですヨ。

松尾 ウーン、音はたしかに静かになったネ。

西松 色(カラーリング)は、はじめはE社か?ついていわれたけど(笑)、見馴れてくると、これも、けっこう評判が良いですよ。

司会 オートルーフについてはいかがでしょうか、方式が珍しがられて、オイルの消費量も少なくなった……という声もありますか……。

西浜 あまりオイルを喰わんとって、心配する人もおるとすよ。それに、カブリも少なくなりましたネ。

小松野 今まではうちのお客さん達は、船外機が故障しないように、安全をとって、混合比40対1で使っていましたけど、それが、高速で50対1、スローで200対1でしよ、おかげでオイルの売り上げがすっかり減ってしまいましたヨ。

それと、以前の40馬力には手回しとセルの併用タイプがあったでしょ、年とったお客さんの中には、セルではバッテリーの問題があるので、併用タイプの方が安心感があるとい





「ボラ釣りの漁師さんに、スロー時の安定性は評判ですよ」
南小松野機械店・小松野繁さん

う人もいます。そうかといって、手回しが無いほうが、デザイン的には格好が良いですしね。
西松 最近ではセルがかからないという苦情が少なくなりましたヨ。
小松野 昔からセルがかからないという苦情の大半は、セルを2・3回かけてみて、それでかからないと、バッテリーまわりの始末（点検）もしてみないで、すぐ見に来てくれでしヨ（笑）。行けば一発でかかってしまう。
松尾 船外機の馬力も、今ではあるていどまでいったでしヨ。性能もあるていどまでいったでしヨ。これから船外機を改良して、どうしようが必要がないくらいまで、現在の船外機は完成しておるのですワ。
小松野 たしかに良くなったですわねエ、今は、お客さんも店もエラク楽ですワ。
松尾 今の船外機はシンボウして使えば、（業務用でも）10年はもつでしヨ、時どきボリングさえすれば、ギヤやメタル関係はほとんど問題はないですワ。マリンストア一泣かせくらいに、モテ過ぎ（耐久性が良すぎる）ですワ（笑）。

司会 ニュー・シルバー・マシンについても、結構なお話が頂戴できました。ところで、ニュー・シルバー・マシンをより良くするために、皆さま何かご要望はございませんか？
西浜 オイル警告システムについてですが、あれはオイルの残量を知らせるだけで、オイルが通過しているか、正常に吐出しているかもわかるようにしてもらえないでしょうか、それに、ホースが黒色ですが、あれは、外から見えるように透明な方が良いと思いませんか。
小松野 3気筒シリーズでは、オイルのキャップがカウリングのトップについているでしょう。あれは、オイルを補充するのにいちいちカウリングを開けないですむので、便利なのですが、誰にでも簡単にキャップが開けられるので、イタズラでもされないかと心配するお客さんいますネ。
西浜 それに、作業中の砂や泥のついた汚ない手で、不用意にキャップを操作される心配もあるし……。
司会 とところで、皆さまはニュー・シルバー・マシンを、もろどのくらい販売されましたか……。
西浜 40馬力以上で5・6台ですか……。
松尾 あれの発売前に、去年はヤマハ船外機を全部売ってしまったので、今のところ、お客さんは飽和状態ですワ（笑）。
小松野 20馬力も何台か入りますが、40馬力を主力に十数台というところです。
司会 どうもありがとうございます。だいぶ時間もたちましたので、最後に、今後のヤマハ船外機について、皆さまのご希望をお聞かせいただけませんか……。
ディーゼルやドライブに
対抗できる、新船外機の開発を

「船外機はヤマハちゆうイメージは、たしかにあるな」
南松尾鉄工所・松尾時治さん
と、往き（空荷）と帰り（重荷）とでは、積載重量の大きく変わる業務用船外機として、減速比をもっと落して、ペラを大きくしたのも作ってもらえないだろうか。
小松野 これも業務用にかぎっての話ですが、昔からヤマハ船外機は部品の数が多いが何故あせんとならんらうか、燃費とかスピードとか、性能向上のためなんでしょうし、それはそれなりに、我々も評価はしてているんですが、業務用船外機としては構造的にもっと簡單明瞭で、部品数の少ない方がよいような気がするが……。
西浜 部品が少ないだけ整備は楽だし、故障も少ないですヨ。もともと、今でも故障が少なくてマリンストア泣かせなんだが……。この辺のところは、我われにとつても痛し痒しの要望かもネ。
松尾 ラインアップも整い、さっきも言ったように、我われの市場では馬力や性能の面では、もういいことのない域にまでも、ヤマハ船外機は達しているのだから、今後はデ



ディーゼルやドライブに充分に対抗できるよう、そんな船外機の開発を、おそらくはもう始めているんじゃないかと、なるべく早くに進めてほしい。
いっぺんに、ディーゼル船外機とまでは、望みませんが、もっと安価な代替燃料を使える、たとえば、石油船外機みたいなものを、早く作ってもらえないでしょうか、現在の燃費の軽減でいどでは、業務用の場合では水揚げさえ良ければお客さんは問題にしないが、それがガソリンより安価な燃料を使えるとなれば、話は違ってくる。
ヤマハにもケロシン船外機はあるが、我われの市場は、あれよりも大馬力域なんですヨ。低燃費の面では、ヤマハ・ドライブ船もあるが、船外機との価格差もあるし、いっぺん買ったら代替サイクルもとうぜん長くなる。それに、長年、お客さん達に船外機をすすめてきた我われとしては、今後も、ヤマハ船外機を中心とした商売を続けていきたいですわネ。
司会 参考となるお話をいろいろとお聞かせいただき、どうもありがとうございます。

座談会を終えて

ここの熊本県の船外機市場でも、やはり、ヤマハ船外機への高い評価は完全に定着してきている。そしてこれには、長年にわたって毎日、浜の漁師さん達に、自信をもってヤマハ船外機を勧めてこられた、マリンストアさん達のおかげも大きいと寄与している。
2年続きの豊作とまではゆかなかつた58年度の熊本のノリ漁だが、そんな状況下にもか、わずらなニュー・シルバー・キャンベーンでも好成绩を上げてこられた熊本県のマリンストアさん達に、今後なお一層のご活躍を期待しよう。

東北各県のマリンストアさん 23店が一斉にTV広告

テレビ画面いっぱいにはヤマハの大型クルーザーが豪快に走り、クルーザー・ヨットが優雅に滑ってゆく。画面は一転してボート釣りのシーン、ニューシルバーマシンのアップへ、そしてヤマハ和船5隻の迫力ある走りやエンディング。その間に「ヤマハ・スプリングセール開催中。ヤマハボート、ヨット、和船、船外機のご用命は〇×マリンへ……」という呼びかけが入ります。

こんな「テレビ・スポット広告」(15秒もの)が、4月上旬から5月上旬にかけて、東北6県全域のお茶の間に流れています。

このテレビ・コマーシャルは、ヤマハ南東北が東北各県のマリンストアさん、ヤマハ特約店さん呼びかけて、青森県8店、岩手県7店、宮城県6店、山形県2店……と計23店のマリンストアさん、特約店さん7店の協賛を得て実施しているものです。

マリンストアさんや特約店がスポンサーの形となる、このテレビ・スポット広告での画面

魚の人相見に便利な プラスチック製 「ブイッシユ・ガイド」



面のテロップとナレーションは、地域ごとに店名をならべての連名式ではなく、あくまでも1店ごと。放映期間中に協賛の30店さんの店名が10回づつ流れるという方式です。放映期間は地域によって10日間~1ヶ月間。「おや、〇×マリンがテレビ広告しているヨ」と各地で話題になり、大きな成果をあげています。

伸びたり縮んだり テレスコピック・ボートフック

ボートからいくら手をのばしても、届く範囲はタカがいられています。モノを突きはなす、モノを引き寄せるのに使用するボートフックは、長いにこしたことはありませんが、邪魔にならないように収納もできなくては……。

そんな発想から生まれたのが、伸び縮みするテレスコピック・ボートフック。使わない時には1・2mのサイズですが、使用時は2・2mまで伸びる便利モノです。お問合せはヤマハ特約店、販売会社・部品用品課まで。

札幌市で「84ヤマハボートショー」開催 中小型釣りボートやディングのコーナーが とくに盛況

去る4月14、15日の2日間、札幌市は月寒にある「北海道立産業共進会場」で、北海道ヤマハ主催の「84ヤマハボートショー」が開催された。シリーズ、UWシリーズ、ティンギーシリーズ、そしてニューシルバーマシン全機種などを展示。北海



ヤマハ「福岡店」と 「横浜店」が移転、 新しくなりました よろしく

ヤマハ九州側では、かねてから本社隣接地に建設中の「ヤマハ福岡店」の新店舗をこのほど完成。福岡店と漁船課は4月10日より、ボート展示場も併設した新店舗で営業を始め

ています。
住所 〒812 福岡市博多区上牟田1-28
電話は従来通りで、福岡店(092) 441-1019 | 代表、漁船課(092) 441-3367 代表。



写真は横浜店

マリンストアさんも フライフィッシングに 強くなるよう



昔から一部のマニアはいましたが、魚釣りの中で、今フライフィッシングがブームを呼んでいます。対象魚はブラック(ブラウン)トラウト、ニジマス、イワナ、ヤマメ、それにあの幻の



漁師さんやマイボート・フィッシャーマンなら、ひと目見ただけでその魚の名前が浮んでくるでしょう。魚の人相見で困るのは、いつもはボート人間だが、たまには釣りも——というお客さんでしょう。そんな人の釣にかかると「魚が釣れたぞ」、「ナニが釣れた?」、「それがワカラナイ」——では、お話にもなりません。

そんなときに便利なのが、この「フィッシュ・ガイド」。もともとはアマチュア・ダイバーたちが海の中で出会った魚を識別するためのカード。海中でも使えるプラスチック板に海水で溶けたりにじんだりしないカラー印刷のジョウブモノだから、小さなボートの上でも安心して使えますし、ショーケースなどの飾りものにも使えそうです。

お問い合わせは、お近くのダイビング・ショップへ——。

この冬は東京で二十数回も雪が降るなど、まさに記録破りの異常気象でしたが、暦の上の春の訪れとともに、白を基調にしたマリニルックの若い女性が目立つようになって、この分では冬から夏へと季節が一足とびにジャンプするのは……と、思われるほどです。白いセーラー・ジャンパーに白のコットンパンツ、横ジマのシャツ、頭の上には水兵帽や船長帽……、まるで街中が週末のマリニルック・ブーム、今年こそ本格的で夏まで続きそうだと、ヤングファッション専門店のお話です。

東京・横浜では4度目のマリニルックブーム お客さまたちには本格的マリニルック用品を

「が開催されました。例年、5月に入らないと春が来ないといわれるほど春の訪れの遅い北海道。春恒例のこのショーも昨年までは5月に行われてきましたが、今年は、同時期に同会場で、84全日本釣り用品見本市。が開催され、これにタイミングを合わせての開催となりました。

ボートは「PC-26」、クルーザーヨットでは「YA-26S」や「同-21CX」

「STR-19RX」が捕鯨(ミンククジラ)に活躍

宮城県牡鹿半島牡鹿町の鮎川は、昔から有名な近海捕鯨基地。今年も4月1日から「ミンククジラ漁」が解禁になりました。9月まで6ヶ月間行われるこの漁は、エンジンの排気音を嫌がって逃げるクジラを、スピードのあるモーターボートで追い回し、疲れきったところを本船のキャッチャーボートがしとめるのが近年の漁法。

まるで猟犬のようなその「追い回し屋さん」には、高速を誇るヤマハボートが使われてき

道のボート・ヨットファンにマリニルックシーズン到来をアピールした会場には、釣り用品見本市の見学者も含め大勢のお客さんが来場。6月1日には、北海道名物のチップ釣り(支笏湖)も解禁されるとあって、釣りファンには中・小型のフィッシングボートのコーナーが、また、若い人々には、ここ数年、全道で愛好者が増え続けているディンギーのコーナーがとくに人気を集めていました。

ました。以前は「STR-19」などのインボートタイプのボートでしたが、数年前から船外機付きのボートが人気を呼び、現在鮎川に9隻ある「追い回し屋さん」の7隻までがヤマハ船外機付きボート。昨年はその仲間「STR-19RX」(140馬力付き)も加わりました。

「ミンククジラの餌となるイサダやメロロッドが、海水温が低いために沿岸近くに長期滞在しているため、今のところたいへん好漁」

とは地元関係者の話です。



魚イトウ……などで、多くは溪流や湿原での釣りですが、湖でボートを使ったフライフィッシングもこれからはますます盛んになってきそうです。そうしたお客さま相手のお話には、最近、品文社出版からでた、「フライフィッシング教書」シェリダン・アンダーソン、田淵義雄共著があると便利です。漫画やイラスト、写真と盛りだくさん内容で、見ているだけでも楽しい本です。

この機会にマリニルックアさんでも、お客さまたちに本格的なマリニルックをお勧めしたいかがでしょうか。今回のお勧め品は、シーマンの服装の原点でもある雨ガッパ、ヨット用のオイルスキンです。防水性、保温性、行動性など機能性はバツグン。ハデな色彩は識別容易、海上での安全性にもつながり、ファッション感覚もナカナカのものです。

ヤマハでは「ヘンリー・ロイド」、「ビーター・ストーム」などの輸入品から国産品まで、オイルスキンを多数取り揃えています。

* * *

1984年 4月10日

春はマリニルックから
ヤング夏を先取り

お客さまたちはみなさんの店のどんなところが気に入っているのでしょうか—
このページではなるべく多くのマリンストアさんをお訪ねし、各お店のプロフィールをご紹介します。

若狭湾、三河湾、琵琶湖、浜名湖…

サービス、信用で

広範囲に多くのお客さま

マリンストップ太陽／代表者三輪一夫さん(39歳)

愛知県瀬戸市共栄通り

●お店の性格／レジャー客100%
●お店の人びと／本店の「瀬戸店」とサービ中心の「給父店」(愛知県海部郡八間村)の二店があり、瀬戸店は三輪一夫さんと奥様の照子さんが、給父店は一夫さんの兄、三輪弘隆さん(52歳)が担当。

名古屋市の中心から北東方面に20キロ近くも入った内陸地、せともの町、瀬戸市にある「マリンストップ太陽」さんは、愛知県内でレジャー客を主体とするマリンストアさんの中では、毎年、最多の販売台数を誇るお店です。

父親が経営する食品関係の会社の仕事を手伝っていた三輪一夫さんは、少年時代よりの熱心なボートファンで、「自分の好きなことを仕事にしよう」と13年前の昭和46年に同店を開業しました。そしてその3年後には、子供の頃から機械いじりが好きで、船外機まがいのものを自作して木曾川渡りに挑戦したり一夫さんのボート熱にも大きな影響を与えた兄の弘隆さんも仕事に加わるようになり、ボート好きでメカに強い、強力兄弟コンビが誕生しました。

内陸地、それも人口が15万人ほどの瀬戸市にある同店は、開業以来、延べ1500名、現在、約300名ものボート客を持っていますが、そのお客さまたちとボートの保管場所は実に広い範囲に及んでいます。

それは、①福井県の敦賀を中心とする若狭湾、②琵琶湖、③浜名湖、④三河湾・知多方面、⑤トレーラーを持ってあちこちで遊ぶ人々に大別できます。トレーラーボートینگ派は全体の約3分の1を占めますが、昨年はトレーラーを購入する人がとくに多く、約20

台を販売しました。

「地元のお客は2割ぐらい、日本海方面のオーナーが一番多い」と語る一夫さん。同店から敦賀、琵琶湖、浜名湖、知多方面は、いずれも車で1時間半から2時間ほどで行ける距離ですが、同店では数の多い日本海方面のお客さんをフォローするため、ボート保管場や棧橋を備えて若狭湾におけるボートینگの基地のひとつになっている敦賀の民宿「伝平荘」や、とくに風光明媚な三方五湖に近い「レインボ・マリーナ」(三方郡美浜町)さんと古くからタイアップしています。

サービスや代替のすすめなどについて—
「うちみたいな場合、修理の仕事を地元の人にゆだねることが多いのですが、うちでは全

て自分たちでやっています。夏など、敦賀方面に、週に2、3回も行きますよ。そんなサービスができる、するのがうちの売りもの、強味になっていっているのでは？」

「エンジンの代替については、もう替え時ですよとハッキリいいます。その方が、お客さんも結局安くつくんですよ。もちろんそのタイミングはお客さんの機具合をよく見てですが…。日頃の取り扱い指導、サービスを完全にしておけば、その信用で、お客さんもこちらのいうことを素直に聞いてくれます」と一夫さん。

「プラグひとつの故障でも、それを直しに行くことによってお客さんのおつき合いが深まり、それによってまた、新しいお客とのつながりができる、つき合いも始まるんですよ」と弘隆さん。

●同店の最大の特長はこうした。サービスの良さですが、さらに同店では、ボート免許教室やお客さまとともに遊ぶイベントも数多く実施しています。

●ボート免許教室：市の勤労会館などを会場に、2、3ヵ月に一度行われ、年間50、60名が受講。告知は、年間スケジュールを立てて

●「中日新聞」の広告特集ページを利用し、これが同店の宣伝活動の主力になっています。

●安全講習会：主に福井県で、「小型船交通安全協会」と連携して実施しています。

●釣り大会：これも福井方面で毎年開催。ヤマハ・ボートフィッシング・コンテストでは同店主催の大会から、3年連続して、ツアー招待者が出ています。

●トレーラー・ツアー：日頃、車でボート(デインギーを含む)を持ち運ぶお客さまたちに呼びかけて、琵琶湖などに遊びに行き、お互いのボートを交換してデインギーに乗ったり水上スキーを楽しんだりするもので、昨年の琵琶湖ツアーには、女性も含む約20名が参加しました。

●ボート展示会：毎年、春と夏場の二回行われ、とくに春のボート展示会は同店にとって重要なイベントです。

「どうしても冬場はお客さまたちと疎遠になりますので、シーズンに先がけて、今年もマリンストップ太陽は頑張りますよ、お客さまたち、よろしくお願ひします」といった意味あいで開催するのです。

約300名の既存客にはDMで案内状を、地元客には「中日新聞」の広告特集を

右から三輪一夫さん、奥様の照子さん、お兄さんの弘隆さん。奥さまも毎日店に出られ、忙しくとびまわること主人さんたちの留守を守って接客や経理に大活躍



ボート展示会！日目は雪にもかわかわらず、大勢のお客さまが来店してくれました



左から神村益弘担当セールス、矢野さん、サービスの森口建一さん



東予方面に多くのファンをもつ矢野正博さん

三津屋の船だまり。右手に「瀬戸内マリーナ」さんのクレーンが…

●お店の性格／レジャー7割、漁業3割
●お店の人々／矢野さんとサービス専任の森口健一さん（45歳）

愛媛県にあるヤマハ特約店のひとつ「四国マリン&モーターズ(株)」（今治市）に、20年間、勤め続けてこられた矢野正博さんは、6年前に独立。折しも、ボートの保管業務を専門とする「瀬戸内マリーナ」（岡本惣介さ

特約店時代からの誠実な仕事ぶり、 確かな技術にお客さんがついてきた

ボートサービス・ヤノ／矢野正博さん（41歳） 愛媛県東予市三津屋

ージを使って告知します。今年は3月10・11日の2日間で行われました。一日目はあいにくの雪、しかしそんな中を、合掌造りで知られる岐阜県白川村から車で2時間半もかけて来てくれたお客さんを含めて、多勢のなじみ客が「励ましの」に来店してくれました。「採算性のことはあまり考えません」という

この展示会。それでも2日間に「F-17」1隻（P-17Xからの代替）、「F-15カスタム」+「ヤマハ40H」1台（ディンギー客が増し）、「F-20」2隻+「ヤマハ60F」、「同75」各1台（いずれも新規客）などの契約があり、幸先の良いスタートとなりました。

（経営）が、東予市を流れる壬生川の河口近くの三津屋港にマリーナを開業。矢野さんはその敷地の一部を借りて店舗とサービス場を

始めました。お店は決して大きくも立派なものでもありませんが、同店は、販売台数数の多さで県下屈指のマリンストアさん。地元、東予市のみならず、今治市、西条市、新居浜市、越前郡の町々と、広い範囲にたくさんのお客さんを持っています。

特約店時代の矢野さんは、「サービス」が主な仕事でしたが、その誠実な仕事ぶりと技術の確かさは定評で、多くのお客さんに好感を持たれていました。

「ヤノさんの独立を知ったあちらこちらのお客さんが、その人柄とサービス（力）についてきたということです。独立してからもヤノさんは誠実な商売を続けておられるので、こんなに売れるんですよ」；同店を担当する神村セールズ（ヤマハ・松山店）がお店の繁盛の要因を教えてくださいました。

同店のお客さんのボートで「瀬戸内マリーナ」に保管されているものは約20隻。こちらではまだまだ保管場所があるそうで、お客の7割はレジャー客、そのほとんどが釣りボートで残りの3割がノリの養殖漁家。この養殖漁

家も、特約店時代からの「ヤノさんファン」が多いとのこと。「漁師さんたちは、冬場、レジャーがシーズンオフになる時、だいたいお客さんです。こういう商売は、相手がレジャー客であれ漁師さんであれ、人と人とのつき合い（が大切）、つき合いを大事にしないと何もかもうまくいかないですよ」と矢野さん。また矢野さんにとって大きな力となっているサービスについては――

「うちでは修理の仕事を大切にしています。ひとつの大きな収入源ですから。ただ、トラブってからの修理だけではダメ。トラブる前の点検、取扱い指導に特に力を入れています。納艇する時もメンテを良くわかってもらいうように説明します。これを十二分にやるか、しないかで、お客さんの満足度は全然ちがってくるんですよ」

「お客のほとんどはお客さんが連れてきてくれたお客です」と語る矢野さん。その言葉からも矢野さんが、いかにお客さんたちの心をしっかりとらえているかがよくわかります。

お客さまとの“和”を大切に 信頼関係が商売をひろげます

橋岡造船所／代表者橋岡計義さん（49歳） 岡山県岡山市西大寺

●お店の性格／ほとんどレジャー中心
●お店の人びと／橋岡計義さん；営業・サービス、奥様、久子さん；事務・経理

岡山市の中心街から東へ約30分も走ると、あの裸まつりで有名な西大寺があります。今では新しい山陽道をイメージするブルーハイウェイの西大寺インターチェンジもあり、静かな町もしいに印象を変えようとしています。橋岡造船さんはこの西大寺を流れる吉井川の河川敷に中古バスを改造した事務所を設けています。

この道100年という大げさですが、計

義さんのひいじいさまから続けてきたという船大工業は、地元ではかなり名の知れたもので、昔から常連客が多いのが特徴といえます。「この辺は昔から漁業が盛んだったところでした。しかし汚染の波は海の姿をすっかり変え、今では細々と漁業を営む程度です。それに変わって登場したのがレジャーボートによる釣りです。私どもの店も90%がこうしたお客さんです。目の前に小豆島、豊島と絶好のポイントがあるので、週末は忙しい限りです。とくに和船タイプよりキャビン付のフィッシングタイプが多く出ます。今のお客さんはわりとカッコつけますからね」

中古バスの改造は計義さんが独自で進めた。タタミ12枚分のスペースに、事務所と免許教室の会場も兼ねています。

奥さま久子さんとはお見合い結婚。今では、FPRの簡単な修理、エンジンのチェック、そして帳面、そして家事と、その働きぶりにただ脱帽と云々。



橋岡さんのお店は、船外機とボートを年間50〜80台隻扱うご商売をしています。これ以上になると、お客さんのアフターフォローができなくなるからだそうです。計義さんの代になってみずと守り通してきたことは、やはりお客さんへの気くばり、お客さんとお店の「和」ということでした。

「こういう田舎ですから、お客さん同士の口コミが一番の宣伝です。だからこそ一人ひとりのお客さんを大切にしなければなりません。今後は、お客さんとの和を広げるつもりでクラブづくりも計画しています」

近々もう1台のバスを購入し、部品、用品のご商売にも本腰を入れるといいます。奥さ



まの久子さんとの絶妙なコンビネーションとともに、常連客のあたたかな声援をバックにご商売にも熱が入ります。

「部品、用品は金額が小さくても、お客さんとの接触を大事にしたいので本格的に考えます。また、イベントの開催や忘年会など、ふれあいの場づくりがこれからのポイントといえますよ」と語る計義さん、久子さんご夫婦に春の陽も味方になってくれるかのようにふりそいでいました。

夢、ヨットで日本一周↓錦江湾を白いセールで… 喫茶室、シャワー室を備えた新店舗も 鹿児島島のボート・ヨットマンのために テクノマリーン 神崎商会／神崎隼昭さん(42歳) 鹿児島県始良郡始良町

- お店の性格／レジャー100%
- お店の人びと／神崎隼昭さんと奥様の勝子さん

別府川とそれをまたぐ旧国道10号線がつくる角に、テクノマリーンさんの新店舗があります。屋根にある三角形の看板はヨットのイ

メージです。上から黄、濃紺、白、赤に塗り分けられていて、とてもよく目立ちます。

神崎さんがマリンストアを開業したのは昭和54年のこと。それより2年前、52年のある日、当時、神崎さんのお仕事は自動車解体業でしたが、その仕事場に中古のボートが持ちこまれたのがきっかけです。

「運びこまれたボートを見て、私も海に出たいなと思いました。それにはボート免許が必要だということで早速とつたんです。そうするうちにだんだん海の世界に引きこまれて、Y-17、21JOG、そしてY-125と乗りついできました。今では家族みんなが一人前のヨット乗りです」と話す神崎さん。海にそこがなっていたとはいえ、店を始めるほどの理由になつてはいるのか「大きな手で頭をかきながら言葉が続きます」

「ヨットで日本一周の計画をたてたんです。3年かけて、家族でまわるつもりだったんです。そして50歳になったら水上生活をしたかった。それを実行するためにこの仕事を始めたというのが本当でしょう。でも、その計画のまま進めたら、それまでのお客さまの信頼を裏切ることになってしまう。思い

悩みはしましたが結局、店を続けることにしたんです。それなら、もつときちんとした店をとっているので現在の店舗をつくりました」

好きなことをやってきたというご主人の神崎さん。店舗づくりも徹底しています。お客さまの気軽なたまり場として大いに利用してほしいと、ショールームの奥の16畳のスペースに、そのまま喫茶店として営業できそうな設備をつくりました。カウンターのうしろの棚には、お客さまの持ちこんだボトルが並びます。

「お客さまが釣りあげたサカナをすぐ調理してね、みんなで一パイやるんですよ。夏にはビアパーティができるようにとペランダもつくつたんです」と奥さまの勝子さん。楽しい雰囲気、みんながワイワイ集まってくれたらいいですね」とご主人と声を合わせます。24時間いつでも使えるシャワーやヨットレースのビデオを備えたのも、お2人の「潮気」でしょう。

「いつか錦江湾を白いセールで埋めたいですね」夢のかたちは変わっても、大きな目標を見定めた神崎さんは陽春の海に向かって今、走り出したところです。



「このころは娘たち(瑞穂さん・麗さん)も学校生活が忙がしいので御無沙汰ですが、家族4人でヨットレースによく出たんですよ」と話す奥さま。結婚15年目とは思えないスガスガさが印象的でした。



油圧操舵装置(船外機専用仕様)のニュータイプ



CY-28M ¥138,000

シリンダ部分が駆動して
船外機を動かします



先月、東京と神戸で開催された'84国際ボートショーのヤマハ部品・用品コーナーで、このCY-28Mは「ヤマハコンピューター魚探」とともに大きな注目を集め、評判となりました。

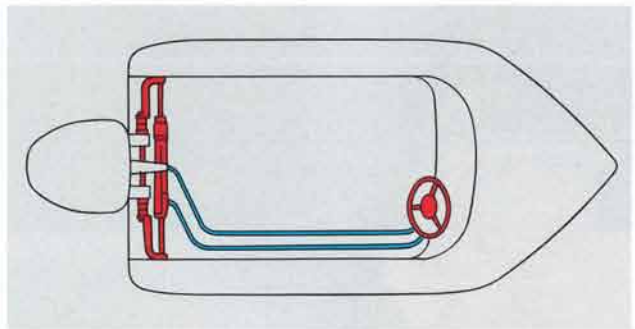
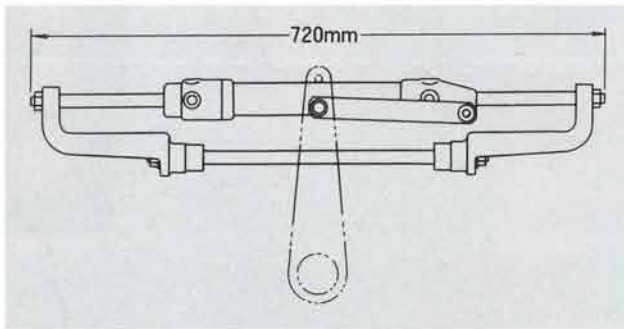
シリンダ部分が駆動して船外機を動かすこのCY-28Mは、従来のものにくらべて、

- 取付けスペースが少なくすむ
- 取付けが一層簡単になった
- 他の艇体艤装の手間ががからない
- 2連式仕様も可能(オプション)

といった長所を備えています。

〈仕様〉

- ハンドル回転数:7.5 ●トルク(35°):42kg-m
- 舵柄芯間:15.5% ●常用最高圧力:80kg/cm²



●従来の3タイプ

1. ステアリングガイドタイプ



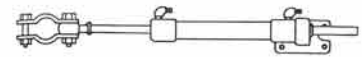
CY-22T/¥99,800
CY-28T/¥131,000

2. ボールポストタイプ



CY-22Y CY-22ZB/¥99,800
CY-28Y CY-28ZB/¥131,000

3. ホールドファーストタイプ



CY-22Z/¥99,800
CY-28Z/¥131,000

バッテリーウィンチ



強力タイプ2機種
高回転・ハイパワーと
お求めやすさで新登場

RED-2012H型
¥108,000

●電源:DC-12V ●モーター出力:200W ●ローラー回転数:100rpm(無負荷) ●最大巻き上げ能力:180kg ●巻き上げ速度:27m/min ●正味重量:13.6kg

従来のRED-2012型
No.90890-44684
¥85,000

●電源:DC-12V ●モーター出力:140W ●ローラー回転数:50rpm(無負荷) ●最大巻き上げ能力:150kg ●巻き上げ速度:11.5m/min ●正味重量:8.4kg



RES-2012H型
¥108,000

●電源:DC-12V ●モーター出力:200W ●ローラー回転数:100rpm(無負荷) ●最大巻き上げ能力:180kg ●巻き上げ速度:27m/min ●正味重量:13.5kg

従来のRES-2012型
No.90890-44682
¥80,000

●電源:DC-12V ●モーター出力:140W ●ローラー回転数:50rpm(無負荷) ●最大巻き上げ能力:150kg ●巻き上げ速度:11.5m/min ●正味重量:8.4kg





あなたの感動を「フィッシング」誌上で発表します。

ヤマハボートフィッシング

魚拓大会



作品募集中



3月4月5月 第1期 春	6月7月8月 第2期 夏	9月10月11月 第3期 秋	12月1月2月 第4期 冬
---------------------------	---------------------------	-----------------------------	----------------------------

季節ごとに4回行ないます。

上位入賞者6名の方に記念カップを贈呈

応募者全員にもれなく「フィッシング」(魚拓大会入賞発表の掲載号)をさしあげます。

魚拓大会は、1年を4期に分けて、実施します。ボートで釣った思い出の魚を魚拓にして送ってください。

魚種・大きさは問いません。季節ごとに「フィッシング」誌上で発表します。

応募のご案内

- 参加資格 釣果をあげたご本人 (ボートフィッシングによる釣果に限ります。)
- 参加方法 作品に参加申込書を必ず添えて、締切日までに郵送してください。(参加申込書を自作される場合はポスターの記入例を参考にしてください。)
- 作品は必ず固い紙にはさんで、郵送してください。
- 作品返却ご希望の方は、裏に「返却希望」と記入してください。

- 郵送先 〒430 静岡県浜松市砂山町353-3 大協土地ビル6F ㈱エスピー三晃 「ヤマハボートフィッシング魚拓大会」係まで。
- 参加締切 春の部 昭和59年5月25日
夏の部 昭和59年8月25日
秋の部 昭和59年11月25日
冬の部 昭和60年2月25日 (締切日の消印のあるものは有効です。)
- 参加料金 無料(郵送料は自費負担。)

表彰

- 審査方法 魚種、大きさは問いません。思い出の魚を魚拓にしてお送りください。

- 発表 春の部——「フィッシング」8月号(6月25日発売)
夏の部——「フィッシング」11月号(9月25日発売)
秋の部——「フィッシング」2月号(12月25日発売)
冬の部——「フィッシング」5月号(3月25日発売)
- 表彰 最優秀作、佳作 計6名(記念カップ贈呈)

【お客さまにお知らせください】

ヤマハでは釣りの総合誌「フィッシング」の協賛を得て、上記の要領で「魚拓大会」を実施しております。お店のお客さまにぜひお知らせください。

尚、「告知垂れ幕」(タテ152cm・ヨコ94cm)や裏面に魚拓の取り方と参加申込書を刷り込んだ「告知チラシ」も用意しております。ヤマハ特約店、販売会社にお問い合わせください。